

仙台市コンプライアンス推進計画（令和4年度～令和6年度）（案）の修正の概要

第2回コンプライアンス推進委員会（令和4年2月9日開催）での意見を踏まえ、以下のとおり検討、修正を行った。

1 記述内容に関するもの

No.	意見の概要	対応
1	・コンプライアンスに取り組むことが地域課題解決につながり、SDGsのゴールに貢献することを示してはどうか。	「1(1)趣旨」にてSDGsに言及。「誰一人取り残さない」という理念も踏まえて今後のコンプライアンス推進の取組みを進める、との認識を提示
2	・基本目標2及び3が、いずれも「コミュニケーション」中心の内容となっている。整理が必要ではないか。	・基本目標の観点を再整理（別表参照） ・「重視すべき視点」も合わせて整理 ・「基本目標の実現に向けた取組み」に「ライフステージに合わせた働き方の支援に関する取組み」を追加
3	・「基本目標の実現に向けた取組み」として多様性に関する項目の充実を（障害者、性的少数者の人権についての管理職研修等）。	・「基本目標の実現に向けた取組み」の「ハラスメントや差別・偏見の防止等に向けた取組み」で「差別」に言及 ※具体的な取組みはアクションプランに掲載
4	・ハラスメントは組織にとって大きな問題となるため、対策をしっかりと取り上げる必要がある。 ・ハラスメントの知識啓発は必要。認識の違いを「ハラスメント」と捉える人もいる。	・基本目標3及び「基本目標の実現に向けた取組み」でハラスメント対策を明示
5	・組織に浸透させて動かすためには、何をすべきか分かりやすく示す必要がある。	・「基本目標の実現に向けた取組み」の項目（区分）の絞り込み、説明文の精査

2 掲載要素に関するもの

No.	意見の概要	対応
1	「2現状と課題」中の「ポイント」の記載は ・調査結果の分析が主となっている。取組みについての評価も記述が必要では。	・「(1)主な取組みと職員意識調査結果の状況」について、代表的な取組項目についての評価の記述を加筆 ※取組み状況や意識調査結果の評価であることが分かりやすいよう名称を「評価」に変更

【別表】各目標の見直し（主旨）

※下線部は変更・追加したもの

目標	原案	修正後
1	○コンプライアンス意識浸透・強化	(主旨は変えず文章を整理)
2	タイトル <u>「コミュニケーションの円滑化」</u> ○コロナ禍・デジタル時代に適応したコミュニケーションへの進化	タイトル <u>「変化するコミュニケーションへの対応と組織連携の活性化」</u> ○コロナ・デジタル時代に適応したコミュニケーションへの進化 <u>○職場でのコミュニケーションの中で、「オール市役所」の意識を涵養し、課題解決に向けた連携を図ることができる組織へ</u>
3	※より良いサービス提供のためには円滑なコミュニケーションが必要、との認識から ○上司・部下間コミュニケーション活性化と「オール市役所」視点の涵養 ○ハラスメントの防止	※より良いサービス提供のためには多様な職員が生き生き働けることが必要、との認識から ○多様な職員が「違い」を尊重、それぞれの視点を課題解決に生かせる関係性の構築 ○ハラスメントの防止 <u>○職員の多様な働き方への支援、意欲向上</u>